

# 美術科 学習指導計画案

指導教員 \_\_\_\_\_

・学校名 \_\_\_\_\_ 高等学校

実習生 \_\_\_\_\_

・日時 2019年 6月 7日(金曜日) 第2, 3時限 場所 中学棟2階 美術室

・対象 1年 A1組(生徒数:男子 33名、女子 6名;合計 39名)

・単元名 ベっこうキーホルダーを作ろう

・単元の主たる内容と目標

ベっこうキーホルダーの製作を通して、ものづくりの楽しさと想像力を身に着ける。

・単元の指導計画(配当時数および本時の位置づけ)

第1, 2時: ベっこうキーホルダーのデザインと形にする  
 第3, 4時: 形を立体的にしていく  
 第5, 6時: ベっこうキーホルダーを仕上げる

・本時の主題名 形を立体的にしていく

・本時に使用する教材・教具

( 授業プリント )

<本時の目標>

デザインした形を自分で考えて道具を使い、立体的にする。

<教材観・題材観>

板書で絵を描いて、理解しやすくする。

<生徒観>

勉強熱心な生徒が多く、話をよく聞いてくれる。

<指導観>

キーホルダーのデザイン、道具の使い方を教え、安全に作業する。

<本時の評価の観点>

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
授業に熱心に取り組んでいるか	キーホルダーの形を立体的に考える。	棒やすりや紙やすりを使いこなせる。	授業で学んだ道具を生かし今後の学習で活用する。

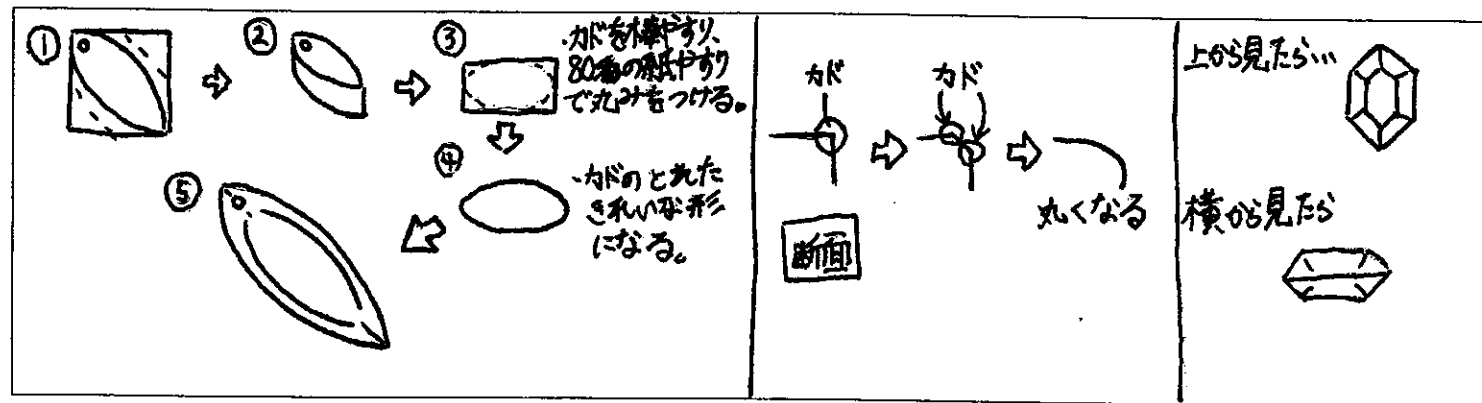
## ・本時の指導過程

	指導項目	指導内容	学習活動		指導上の留意点	時間
			教師のはたらきかけ	生徒の学習活動		
導入	号令 前回の授業の説明	前回した内容の説明 キーホルダーのデザインを考えた ↓ 道具を使い、形を作る	前回の授業でどんな作業、道具を使ったのか思い出させる。	前回どんなことをしたのか思い出す。		10分
	形を立体的にする説明	小さい棒やすり、紙やすりでベっこうの板を削り、形を立体的にすることを説明する。 2000番の紙やすりは、仕上げ用のため使わないことを説明する。	形を立体的にするには、ベっこうの板のカドを削り、丸くすることを説明する。	どのような作業をするのか考え、理解する。	生徒を静かにさせてから話をする。	20分
展開	作業の時間	一人一人の生徒を見て回り、生徒の作品を褒め、必要であればアドバイスを的確にする。	生徒の状況を確認し、道具の扱い方やアドバイスをする。	作業に集中する。	「ケガをしないように気をつけなさい。」や「糸鋸を使っている人にぶつからないように移動しなさい。」など声掛けをする。	20分
	号令					
展開	紙やすりを使い、凹凸や傷を消す説明(授業の進み具合で調整)	紙やすりで、ベっこうの板の小さな傷を削って表面を均一にする説明をする。	紙やすりの番手を使い分けることを教える。	内容を理解する。		20分
	作業の時間	一人一人の生徒を見て回り、生徒の作品を褒め、必要であればアドバイスを的確にする。	一人一人の状況を見て、紙やすりを目の細かいものに変えるかなどアドバイスをする。	作業に集中する。	「ケガをしないように気をつけなさい。」や「糸鋸を使っている人にぶつからないように移動しなさい。」など声掛けをする。	20分
整理	片付けと掃除	机と床の掃除と片付け	ほうきと雑巾の場所などの説明を生徒にする。	ゴミが無いようきれいに掃除する。	生徒が掃除をしていなかったら注意する。	10分

## 美術科 板書計画案

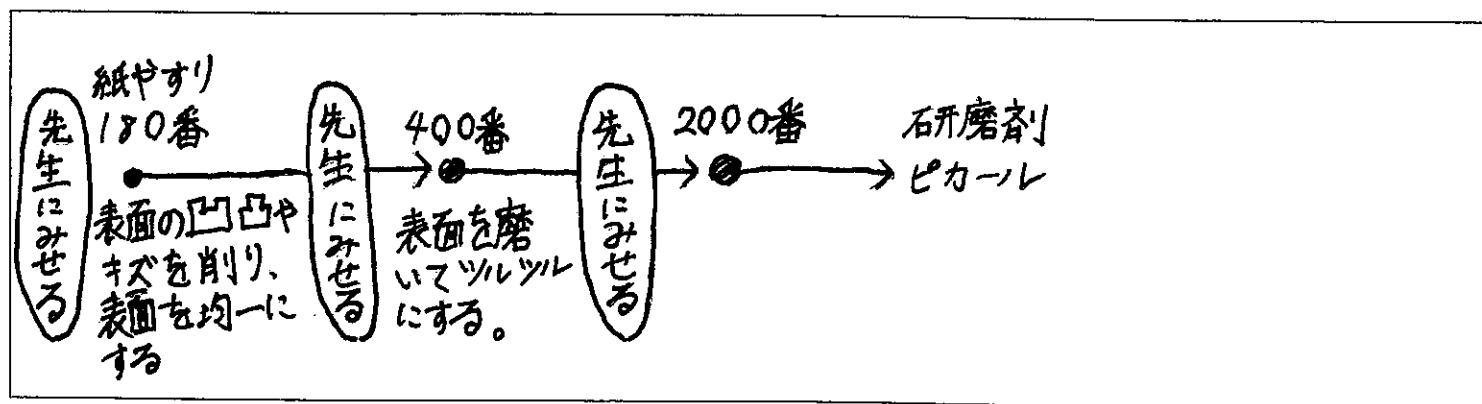
- ・学校名 \_\_\_\_\_ 高等学校 \_\_\_\_\_ 指導教員 \_\_\_\_\_
- ・日時 \_\_\_\_\_ 2019年 6月 7日 (金曜日) 第2, 3時限 \_\_\_\_\_ 実習生 \_\_\_\_\_
- ・学級 \_\_\_\_\_ 1年 A1組 (生徒数: 男子 33名、女子 6名 合計 39名)
- ・本時の主題名 形を立体的にしていく。
- ・本時の指導目標 デザインした形を自分で考えて道具を使い、立体的にする。
- ・本時の板書の留意点 絵を分かりやすく、伝わりやすいように描く。

### 〈第1面〉



[備考]

### 〈第2面〉



[備考] 授業の進み具合で調整

## べっこうキーホルダーを作ろう

棒やすりとは……

棒やすりは押した時に削れるので前後にこするのではなく、押した時にだけ力を加えて削るようにする。力を入れすぎると削れすぎることがあるので細かい所を削る時は力加減をしながら丁寧に作業する。

紙やすりとは……

紙やすりは研ぎの方向性がなく、曲面など自由に磨ける道具。紙やすりの表面は目が粗いザラザラしたものから目の細かいサラサラしたものがある。

糸ノコとは……

糸ノコは刃を下に引く時に切れる。刃をまっすぐに動かし、力を入れすぎず丁寧にすると綺麗に切れる。

### べっこうキーホルダー作りの流れ

- ① 龍甲(べっこう)調樹脂板に好きな形をデザインする。スケッチブックで形を考えよう  
↓
- ② 糸ノコや棒やすりを使い、形を作る。  
↓
- ③ 紙やすり(80番、180番、400番)を使って形を整え、表面についた小さなキズを無くす。紙やすりを使う時、初めは目が粗い(ザラザラしている)80番から使っていく。そして目の細かい180番→400番へと替えていく。  
↓
- ④ 仕上げの作業として2000番の紙やすりでピカピカになるまで磨く。最後に研磨剤(ピカール)を使い仕上げる。

### 作品例

